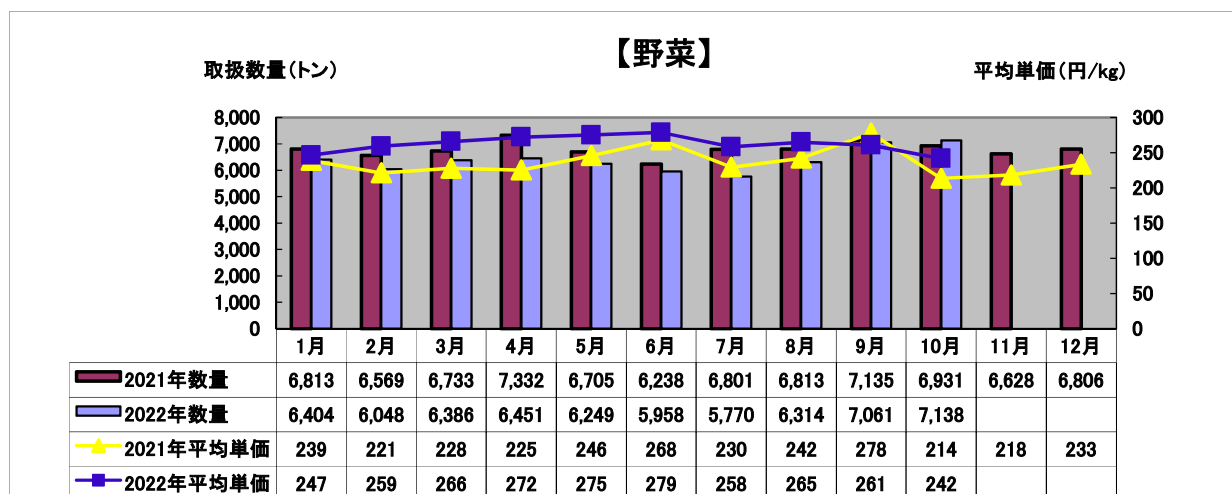
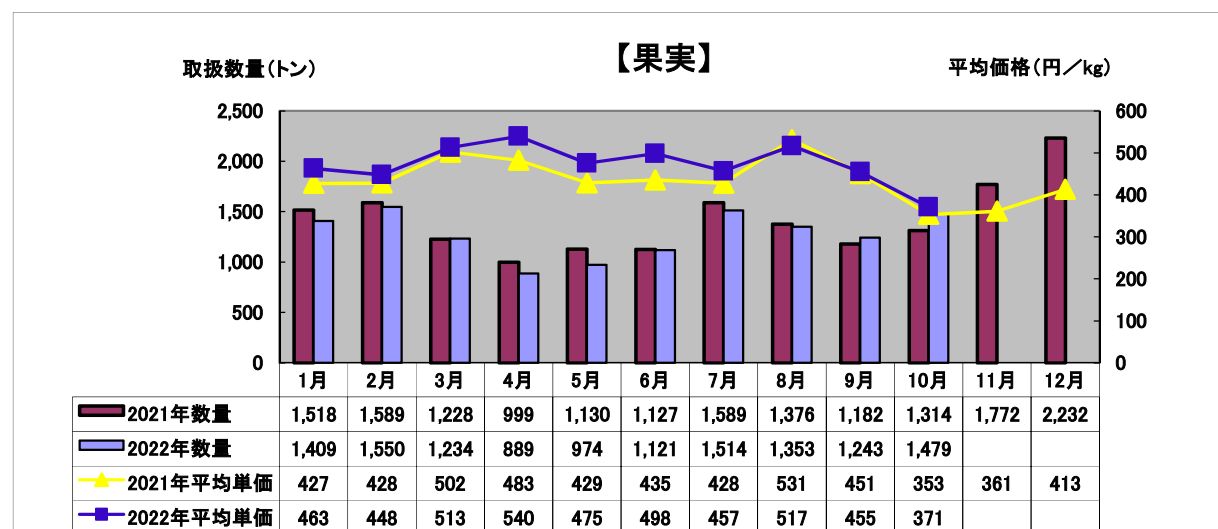


令和4年(2022年)10月 青果部 種類別市況



10月の野菜類は、夏秋産地の切り上りが早く、秋冬産地への切り替えが上手いかない品目が多かった。果菜類・人参等が前年を大きく上回る価格となったため平均単価は高く推移しました。数量はやや増加しました。

前年比数量 103%、単価 113%で終了しました。



10月の果実類は、柿類、梨類が前年より多く入荷する結果となり、葡萄の産地リレーも順調に進んだため数量はやや増加しました。平均単価については、前年並みで推移しました。

前年比数量 105. 2%、単価 100. 9%で終了しました。